

○ 有松まちづくりの会 (8月22日)

①重伝建選定のPR実施予定 (事業部)

- ・「まちづくり広場・東海2016」 9月13日～25日 金山南ビル内都市センター11階
- ・「緑区区民まつり」 10月22日 大高緑地

②29年「福よせ雛」開催検討始まる (2017年福よせ雛実行委員会 8月29日)

来春の福よせ雛について、今年の実績を加え、より充実した内容にし、多くの方の協力を得て開催する方向で検討が始まりました。

○ 重伝建推進委員会 (8月22日)

①重伝建選定祝賀行事 (実行委員会鋭意検討中。9月中旬に最終決定予定)

○10月1日 (土)

祝賀夜祭り (17:30～19:30)

- ・会場：祇園寺本堂
- ・内容：尾張万歳、日本舞踊、一人語り、囃子込み (西町山車係)

○10月2日 (日)

重伝建選定記念シンポジウム (14:00～17:30、歴まち室主催)

- ・会場：有松小学校 体育館
- ・内容：オープニングセレモニー、開会式、選定経過報告、基調講演、パネルディスカッション

○11月12日～13日 (土・日)

重伝建選定記念 晩秋の有松を楽しむ会 協賛

- ・指定文化財のライトアップ
- ・絞りの提灯で東海道をドレスアップ

○11月19日 (土)

記念植樹 (13:00～14:00)

- ・会場：ありまつ公園 桜を植樹

提灯行列 (19:00～20:00)

- ・会場：有松一里塚～松野根橋

○11月19日～20日 (土・日)

重伝建選定記念 有松コミセンまつり 協賛

- ・会場：有松コミセン、有松小学校体育館

○12月31日

記念誌の発行

- ・内容：重伝建選定に至るまでの経緯、祝賀行事、今後のまちづくりの展望、祝賀寄稿など
- ・有松学区町内会全戸配布

お願い

重伝建選定祝賀事業を行うに当たり、会員皆様のご支援をお願いすることになりました。

近々、世話人がお願いに上がりますので、よろしくご協力の程お願いいたします。

有松まちづくりの会

○ 妻籠、今井町から重伝建選定の祝辞を受ける（8月2日）

P-2

町並み保存連盟を一緒に立ち上げた、南木曾の「妻籠を愛する会」小林理事長と奈良の「今井町町並み保存会」若林会長が有松に駆けつけ、重伝建選定を祝してくださいました。

妻籠は昭和51（1976）年、今井町は平成5（1993）年に重伝建選定を受けており、大先輩です。その大先輩からアドバイスを受けました。

- ・歴史ある町並みは、宝である。
- ・地場産業である絞りは、強力な武器である。
- ・らしさでなく、本物で行くことが重要である。
- ・来年の全国町並みゼミ有松大会を、将来のまちづくりを行う出発点とするのも良いのでは。



妻籠の小林氏（左から二人目）と
今井町の若林氏（右から二人目）

○ 安城七夕まつりで有松をPR（8月5・7日、事業部）

今年も猛暑の中、有松まちづくりの会と絞組合が安城の碧海信用金庫本店前で有松をPRしました。

まちづくりの会は、重伝建に選定された有松の町並みを、新規に作成したパネルとチラシおよび石田季実枝さん製作のパネル大絵手紙でPRしました。また、「かるた」風に作られた絵手紙でも有松をPRしました。隣には、有松絞りコーナーが設けられ、「ミス絞り」も参加し、絞りの宣伝と即売が行われていました。

今年の安城七夕まつり来場者は、3日間で120万人でした。



有松PRコーナー

○ 名古屋市近隣市町村長懇談会 有松で開催（8月22日、名古屋市主催）

今年も重伝建に選定された有松で開催されました。

開会挨拶で河村市長は、いつもの通り絞りのシャツを着て、『有松には4つの宝がある。行政の保護のもと栄えた地場産業の絞り、商家が建ち並び重伝建に選定された町並み、江戸前期に造られた山車、そして桶狭間古戦場がある。ここ有松・桶狭間と名古屋城を世界的観光地にする。』と話されました。

講演会は、日本福祉大学の曲田（まがりだ）教授の「歴史をテーマにした地域連携」でした。

- ・地域連携の基礎は、相互の地域に住む人々の理解が必要である。
- ・理解を進めるには、お互いにその地域の歴史的共通性を再発見するのがよい。
- ・自治体は、歴史的価値の見出、ストーリーの創出、その魅力のアピールを支援する。

講演会后、有松あないびとの会の案内で、重伝建になった町並みを視察しました。

（当懇談会は、名古屋市と近隣38市町村長が年1度意見交換等を行う。第1回は昭和61年開催）



開会挨拶をする河村市長

○ まるはちの日 絞会館の賑わい（8月8日）

「まるはちの日」は、名古屋市の市章・まるはちマークが、明治40（1907）年に制定されたことに由来します。その制定の88年後にあたる平成8年8月8日に「まるはちの日」が制定されました。

名古屋市ではこの日を記念し、各地で事業が開催され、有松も協賛事業を毎年開催しています。

①夏休み親子ふれあい絞り教室（絞組合）

絞会館では「親子ふれあい絞り教室」が行われ、80名を超える親子が絞り体験を楽しみました。

恒例となっていることもあり、申し込み受付初日に定員を超える盛況で、名古屋市内のみならず豊明市、刈谷市など近隣市町村からも多くの参加者がありました。「昨年体験して面白かったから今年も」との声も聞かれ、その場で思い思いの色に染めあげてもらえる楽しさも加わって、参加者は、満足そうな様子で作品を待ち帰っていました。



親子で絞りを体験

②けん玉と紙芝居の披露

絞り教室に合わせて緑区ルネッサンスフォーラムの皆さんが、地元で伝わる民話「やさい三兄弟」や「玉照姫」などの紙芝居や、けん玉遊びを披露してくれ、絞り教室の子供たちに、有松小トワイライトルームの子供たちも加わって、可愛い笑い声の響く一日となりました。



けん玉を習う子どもたち

○ 避難所開設訓練行われる（8月6日）

炎暑の中、区政協力委員と連絡協議会のメンバーなど約80名の参加者による避難所開設訓練が有松小学校で行われました。最初は、DVDを視聴し、大規模災害時には、行政による公助と地域住民たちの自助、すなわち共助の意識をもつことが大切だということを確認しました。

つづいて体育館で、投光器の操作と仮設トイレと間仕切りルームの組み立て実習をしました。消防団の指導のもとで試行錯誤しながらも訓練に取り組みました。

次は、小学校西門道路上にある地下式給水栓の操作訓練を行い、出水した水が良質かどうか試験紙による判定を行い、良と出た水の匂いを嗅ぎ、味を確かめました。

訓練後は意見交換を行い、より良い避難所のあり方を、参加者全員で認識しました。安心安全な町づくりの一環とした活動は、大変意義のある活動だったと思います。



水質検査風景

有松の伝建地区で伝統的建造物に特定された主屋は34軒あります。その内、県・市に指定された文化財は5軒、国に登録された文化財は2軒あります。

それらの建屋は、天明の大火（1784年）以降の江戸後期から昭和前期までの様々な時代の建物ですが、それらの主屋は、時代的特徴を示しながらも木造2階建の町屋を踏襲しており、統一感のある町並みが形成されています。

【江戸後期の町屋】

木造、厨子（ずし）2階建、切妻・平入形式を基本とし、建物前面に半間程度の奥行の下屋が設けられています。

防火対策として、屋根は棧瓦葺（さんかわらぶき）とし、外壁、軒裏などは漆喰で塗り固めた塗籠造（ぬりごめづくり）が特徴です。

【明治以降の町屋】

江戸期の町屋の様式を踏襲しつつも、軒高は高くなり、昭和に入ると2階に座敷が設けられるようになりました。塗籠造りの意匠は明治中期頃までで、その後は真壁造り（木部現し）になっていきました。

参考資料：有松伝建地区保存計画（名古屋市教育委員会 平成28年2月28日発行）



東竹家（天保2（1831）年築）

○ 催事・行事の予定

- ・9月04日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- ・9月9～11日 10:00 第39回 全国町並みゼミ大内・前沢大会 全国町並み保存連盟
- ・9月12日（月） 17:00 第5回 重伝建祝賀行事実行委員会 コミセン
- 〃 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- ・9月18日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- ・9月23日（金） 17:00 第2回有松福よせ雛実行委員会 まめはな
- ・9月25日（日） 07:30 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
- ・9月26日（月） 17:00 第6回 重伝建祝賀行事実行委員会 コミセン
- 〃 18:00 重伝建推進委員会 コミセン 有松まちづくりの会
- 〃 19:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- ・9月27日（火） 18:00 有松桶狭間観光振興協議会役員会 絞会館
- ・10月01日（土） 17:30 重伝建選定 祝賀夜祭り 祇園寺
- 〃 19:00 有松山車まつり 前夜祭 文嶺講
- ・10月02日（日） 09:30 有松山車まつり 本祭 文嶺講
- 〃 14:00 重伝建選定記念シンポジウム 小学校体育館 名古屋市

発行者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 副会長）

編集者：加藤 一成（有松まちづくりの会 広報部員）

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp
：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索